

# 静岡県新文化施設運営事業募集要項等に関する現地見学会

## 【説明内容】

日時：令和7年12月17日（水）14時25分～15時15分

場所：静岡県新文化施設（旧ヴァンジ彫刻庭園美術館）

- ・資料（A4のスライド）に従い、施設内を案内する。
- ・資料には○数字とそれぞれの建物、庭園の説明を記載している。
- ・裏面に記載する順路に従い、案内する。
- ・質問や意見がある場合、募集要項に定める様式にて、12月19日までに県文化政策課へメールで提出すること。
- ・今回の説明は、HP等で公表されている範囲での説明であり、その他については、実施方針、要求水準公表時に示した、「添付資料に関する誓約書」の提出を受けて、送信した各種資料で確認すること。

### ④旧ガーデンレストラン

- ・資料④ 旧ガーデンレストラン
- ・2009年築、鉄筋コンクリート造であり、延べ床面積は約492m<sup>2</sup>である。
- ・開館当時は、イタリアンレストラン、その後、和食のレストランとして営業しており、いずれも高単価のレストランで、飲食の場の他、披露宴等でも利用されていた。下部庭園を望む大きな窓が特徴で、個室・ワインセラーもある。
- ・テナント等による静岡の食文化の魅力を発信する場などが考えられる。
- ・施設内の厨房機器は、そのまま使用しても、撤去していただいても構わない。
- ・厨房の地下は倉庫となっており、道路に面した搬入口がある。

### ⑤旧カジュアルダイニング

- ・資料の⑤ 旧カジュアルダイニング
- ・2009年築・鉄筋コンクリート造/鉄骨造であり、延べ床面積は約163m<sup>2</sup>である。
- ・開館当時は、ピザなどの軽食を提供してた。当時は珍しい本格的なピザ窯を有するオープンキッチンで、客席から様子が見えるようになっている。道路に面したテラス席でも飲食可能であった。
- ・この施設も先ほどの旧ガーデンレストランと同様、静岡の食文化の魅力を発信する場や、来場者が体験・創造する場としての活用などが考えられる。

### ⑥旧ギャラリーショップ

- ・資料の⑥ 旧ギャラリーショップ
- ・2002年築・鉄筋コンクリート造/鉄骨造であり、延べ床面積は約471m<sup>2</sup>である。
- ・開館当時は、フラワーショップ、ブティック、書店の3つの店舗が入っており、

クレマチスの苗やヴァンジ美術館関連のグッズなどの販売が行われていた。

- ・道路に面し、開放的で、内部の様子が見える構成で、小売店舗のほかギャラリーとしての活用も可能である。
- ・地元物産や伝統工芸品の販売などの場としての活用などが考えられます。
- ・トイレは屋根付きの半屋外空間のアプローチとなっており、自由に利用できるようになっている。

## ①旧チケットセンター

- ・資料の① 旧チケットセンター
- ・2004年築・鉄骨造であり、延べ床面積は約150m<sup>2</sup>である。
- ・開館当時、来場者はここでチケットを購入し、有料エリアである上部庭園、旧展示棟、下部庭園へと進んだ。
- ・また、旧チケットセンターは職員事務所としても活用していた。

## ⑦上部庭園

- ・資料の⑦ 上部庭園
- ・広い芝生と起伏のある敷地形状を活かした構成で、ここから旧展示棟、下部庭園へと繋がっている。
- ・視覚障害のある方のために、日本の美術館ではじめて視覚障害者向けアプリ「ナビレンズ」を導入するなど、幅広い方が芸術を体感できるような工夫がなされた施設となっていた。
- ・庭園や旧展示棟に存置された彫刻作品の一部は、他者所有の作品である。今後の彫刻作品の扱いについては県と当該所有者にて協議・決定する予定です。なお、彫刻作品は庭園と一体となっているため、原則として、彫刻作品の劣化等の理由により利用者等に危害を与える可能性がある場合等を除き、彫刻作品の移動や撤去は認めないこととしている。
- ・他者所有の彫刻作品の配置や一覧については、実施方針、要求水準公表時に示した、「添付資料に関する誓約書」の提出を受けて、送信した資料で確認すること。

## ②旧展示棟

- ・資料の② 旧展示棟
- ・2002年築・鉄筋コンクリート造であり、延べ床面積は約1,733m<sup>2</sup>である。
- ・開館当時美術館の「メインとなる建物であり、上部庭園と下部庭園を区分している。
- ・ヴァンジ氏の彫刻展示の他、個展や演奏会、結婚式の会場としても使用されていた。
- ・施設最大の建築で、堅牢な大空間であることを活用し、創作活動や発表を行う文化体験を楽しめる場、アートの鑑賞からクリエイティブな創造・発信を行う場、様々な地域文化の体験・学びの機会を提供する場といった活用が考えられ

る。

- ・建物の構造上、上部庭園からの入口が1階となり、展示空間は地階扱いとなっている。

#### ⑧下部庭園

- ・資料の⑧ 下部庭園
- ・上部庭園と同様、広い芝生を中心に構成され、開館当時は、バラやクレマチスなどの花が咲き誇っていた。
- ・県が譲渡を受けてから、地元自治体等の協力による、マルシェやワークショップなどのモデル事業や、地元の団体等の協力による庭園のバラの剪定や庭園の草取り、池の清掃活動などのボランティア活動が行われている。
- ・庭園では、自然を活用したワークショップ、家族連れ向けの体験プログラムやイベントなどの活用が考えられる。

#### ③旧ガーデナーズカフェ

- ・資料の③ 旧ガーデナーズカフェ
- ・2003年築・木造であり、延べ床面積は約38m<sup>2</sup>である。
- ・開館当時は、庭園の見えるカフェとして、コーヒーなどを提供していた。
- ・半屋外空間のテラスに机といすを置き、クレマチスのホワイトガーデンを眺めながら休憩できる場所であった。
- ・案内した施設や庭園等について、原則として、大規模改修や造成を行わず、既存の建物や庭園の機能を踏襲した活用を想定している。
- ・一部、テナント誘致等、利活用計画のコンセプトの実現を目指し、求める機能を有する魅力的で効果的な運用を行っていただきたい。